

1.技 術	1.1 海水淡水化
2.事 業 名	1.1.10 オマーン国における油濁海水浄化処理技術開発
3.キーワード	オマーン国、油濁海水、浄化処理技術、MF 膜、RO 膜
4.目 的	<p>この事業は、(財)石油産業活性化センターから委託を受けて平成 10 年度から実施してきたもので、平成 12 年度が最終年度である。</p> <p>オマーン国では、アラビア湾に出入りするタンカーからの含油排水の放流などにより、沿岸海洋の油汚染が懸念されている。また、同国では将来の水需要増大に対処するため、大小の海水淡水化設備が計画されており、油濁汚染梅水浄化システムの検討が重要課題となっています。</p> <p>現地に技術者を派遣して、平成 10 年度には、精密ろ過膜ベンチプラントによる油濁海水の処理実験を開始し、平成 11 年度からは、精密ろ過膜と逆浸透膜を組み合わせたパイロットプラントを設置して連続運転を実施した。</p> <p>その結果、通常のおマーンの海水、オマーン原油を添加した人工油濁海水からでも飲用に適する水質の水を得る技術を開発した。この開発の一部は、カウンターパートの研究者が国際会議にて発表した。</p>
5.参 照	(財)石油産業活性化センター